学校番号	219

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	歴史総合　近代から現代へ（山川出版社）　歴総 707						
副教材等	歴史総合　近代から現代へ　ノート（山川出版社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合は国際関係から社会の編成、日常生活の具体的な姿や生産のあり方のなかから、世界と日本の歴史的なつながりを学びます。この過程は、「他者」の発見と「他者」への共感、「他者」との共生の歴史を学ぶということでもあります。このとき、「問い」を立てるという姿勢が大切です。「答え」を学ぶのではなく、歴史に向かって問いかける姿勢です。このことが歴史総合を学ぶということです。

２　学習の到達目標

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史の知識理解をする。また、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養い、思考・判断・表現の力をつける。

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・世界と日本の近現代の歴史を、両者を関連付けながら理解している。 ・資料を読み解き、個々の事象の歴史的意義を理解することができる。	・歴史的諸事象の因果関係を整理し、説明することができている。 ・歴史的事実に対する多様な見方・考え方を理解した上で、自分の考えを説明できている。	・現代につながる課題について深く探求する姿勢をもち、問題解決のために試行錯誤し、疑問点を整理したうえで教員や仲間と共有するなどしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	近代化と私たち	結びつく世界	a:16 世紀にはアジア各地で大帝国が成立し繁栄していたこと、同時期にヨーロッパ各国がアジアに進出し、世界的な規模で経済が発展していったことを理解する。 ・琉球とアイヌの役割に留意して、江戸時代の日本の商品生産や対外貿易の特徴を理解する。 ・ヨーロッパで成立した主権国家と主権国家体制について、その特徴を理解する。 b:東アジアに軍事政権が成長し、清や江戸幕府が成立したこと、そうした政権の統治法や経済成長について考察する。 ・中世に支配的であったカトリック教会の改革の動きである宗教改革の考え方や影響について考察する。 c:ヨーロッパ人の海外進出について理解し、その影響について考察する。	小テスト 定期テスト	グループワーク レポート 定期テスト	グループワーク レポート

		近代ヨーロッパ･アメリカ世界の成立	a:七年戦争の勝利後におけるイギリスの北アメリカ植民地の拡大と変遷を理解する。産業革命によるヨーロッパ各国内の変化や、世界的な影響について考察する。 ・ナポレオン戦争の経過と、ヨーロッパにおける変化を理解する。 ・ウィーン会議の内容とウィーン体制の特徴を理解する。 ・自由主義の運動と 1848 年にヨーロッパでおこった一連のできごとを理解する。 ・ナショナリズムの特徴とイタリア・ドイツの国家統一への動き、フランスの二月革命後の国内状況、イギリスの諸改革などを理解する。 ・イギリスとフランスの国内状況をとらえ、対外政策の概要を理解する。 ・イタリアとドイツの統一国家形成の過程をとらえ、時系列にそって理解する。 b:フランス革命の経過と革命の成果を理解し、その後の世界にあたえた影響を考察する。 ・ビスマルク外交について、その基本方針を理解し、具体的にどのような国と同盟関係を結んだのかを考察する。 c:アメリカ独立革命とその理念を理解し、その後の世界にあたえた影響を考察する。	小テスト 定期テスト	グループワーク レポート 定期テスト	グループワーク レポート

2		近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	a:「新大陸」発見以降、多くの人々が大西洋を通ってアメリカにわたった理由と経過を理解する。 ・「東方問題」とはどのような問題であるかをとらえ、その概要を理解する。 ・アヘン戦争・第２次アヘン戦争(アロー戦争)によって、イギリスをはじめとした欧米列強に、中国が半植民地化されていく過程を理解する。 ・欧米諸国の通商要求に対する江戸幕府の対応を理解し、開国にいたる経緯を理解する。 ・ペリー来航後、朝廷・諸大名の発言力が増大し、江戸幕府の政治が動揺していった変動の様相を理解する。 b:合衆国史上最大の内戦である南北戦争について、その原因と経過を考察する。 c:南北戦争後、法的に平等な権利が認められたにもかかわらず、黒人への差別が解消されなかった構造について考察する。 ・開国後、日本では欧米の知識・技術の受容がいっそう進んだことを理解するとともに、日本と欧米諸国とのあいだでおこなわれた貿易の特徴を考察する。	小テスト 定期テスト	グループワーク レポート 定期テスト	グループワーク レポート

		明治維新と日本の立憲体制	a:大政奉還のねらいをふまえ、明治新政府の成立や戊辰戦争の展開を理解する。 ・日本人の海外渡航に注目し、海外への移民がしだいに増加していったことを理解する。 ・自由民権運動がおこった背景および運動の高まりや担い手の広がりについて理解し、それに対する政府の対応を理解する。 ・日清戦争後の国内政治について、政府と政党の動きに注目しながら、その特徴を理解する ・大日本帝国憲法のもとで、成立した制度や諸法典の内容、その特徴を理解する。 ・帝国主義とは、どのような状況で、どのようにして生まれたのか、その後の世界にどのような影響を与えたかを理解する。 ・列強による中国分割や東アジア情勢の変化を年表にまとめ、日露戦争がおこった理由を理解する。 b:五箇条の誓文に示された新政府の国家方針を理解し、版籍奉還と廃藩置県の歴史的意義を考察する。 ・大日本帝国憲法の成立過程をふまえ、憲法の内容を理解し、その特徴を考察する。 c:清を中心とした国際秩序を理解し、日本が清・朝鮮と取り結んだ外交関係を年表にして考察する。 ・条約改正が成功した国際的な背景を理解し、その交渉経過や、締結された条約内容について考察する。 ・日清戦争がおこった背景を理解し、戦争の推移・結果や、その後の日本と清・朝鮮に対する影響について考察する。	小テスト 定期テスト	グループワーク レポート 定期テスト	グループワーク レポート

	国際秩序の変化や大衆化と私たち	第一次世界大戦と大衆社会	a: 総力戦による社会の変化を理解する。 ・戦時外交とアメリカ合衆国の参戦による戦争の経過、および大戦による国際社会の変化を理解する。 ・パリ講和会議とヴェルサイユ条約の内容を整理し、国際連盟の限界を理解する。 ・ワシントン会議の内容を整理し、ワシントン体制で成立した国際秩序の特徴を理解する。 ・大正政変がおこった背景を整理し、その後の政治の推移を理解する。 ・大戦景気がおこった背景を整理し、その特徴について理解する。 ｂ：バルカン半島の複雑な状況を理解し、その影響と第一次世界大戦の開戦について多面的・多角的に考察する。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，関連付けたりするなどして，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・国際協調のなかで結ばれた条約の内容を理解し、国際協調のなかで模索されたものは何か考察する。 ・第一次世界大戦後に民族運動が活発になった要因を理解し、その影響について考察する。 ・東アジアにおける民族運動を整理し、中国における国民党と共産党がはたした役割について考察する。 ｃ：日本の参戦以後、日中両国間でどのような動きがあったのかを考察する。 ・1920 年代のイギリス・フランス・ドイツ・イタリアの状況を理解し、各国の第一次世界大戦後の変化について考察する。	小テスト 定期テスト	グループワーク レポート 定期テスト	グループワーク レポート

		経済危機と第二次世界大戦	a: 恐慌が世界に波及した要因を追究し、その後の世界にあたえた影響を理解する。 ・ファシズム体制の特徴をまとめ、国内外への影響を理解する。 ・金融恐慌のおこった背景を考察し、その特徴について理解する。 ・二・二六事件がおこった背景を考察し、その後の政治や軍部の動きの推移について理解する。 ・第二次世界大戦がおこった背景を理解し、その後の政治の推移を考察する。 ｂ:各国が金本位制を離脱したことの意味を理解し、ブロック経済形成の目的と影響について考察する。 ・ニューディール政策の内容とその結果を理解し、アメリカの外交政策の変化を年表にまとめ、考察する。 ・満洲事変がおこった背景を理解し、その後の政治の推移を年表にまとめ考察する。 ・五・一五事件がおこった背景や理由をふまえ、その後の軍人の行動が、政治にどう影響したかを考察する。 ｃ:ヒトラーとナチ党がドイツで政権を獲得し、独裁体制を確立した経緯とその結果について考察する。 ・1930 年代のヨーロッパにおけるファシズムと反ファシズムの共通点と相違点を考察する。 ・日中戦争がおこった背景を理解し、その後の国際社会に与えた影響を考察する。 ・三国同盟がどのようにして締結されたか理解する。また、国民生活にどのような変化・影響があったのか、新体制運動の下での背景と関連づけながら考察する。 ・第二次世界大戦は、戦後の世界にどのような影響を与えたか考察する。	小テスト 定 期 テスト	グループワーク レポート 定期テスト	グループワーク レポート

3	国際秩序の変化や大衆化と私たち／グローバル化と私たち	戦後の国際秩序と日本の改革	a: 冷戦について、資本主義陣営と社会主義陣営にわかれた経緯を理解し、米ソが二大国となったことを理解する。 ・中華人民共和国の成立について、年表にまとめて理解する。 ・連合国による日本占領の方法や特徴について理解する。 b：ドイツの戦後の占領分割について、連合国側とソ連のそれぞれの方法を考察する。 ・朝鮮戦争についての背景・過程を理解して、東アジア諸地域にあたえた影響を考察する。 ・講和をめぐる国内の動き、サンフランシスコ講和会議の経過や平和条約の内容を理解し、日本がどのように国際社会に復帰したのかを考察する。 c：第二次世界大戦後の国際社会が、どのようにして新たな国際秩序を構築したかを考察する。 ・日本国憲法の制定過程を理解し、その特徴について考察する。 ・戦後復興が難航した背景を理解し、政府がどのような政策を講じたかを考察する。 ・連合国による日本の占領政策の転換について整理し、それが日本の政治・経済にどのような影響を与えていったかを考察する。	小テスト 定期テスト	グループワーク レポート 定期テスト	グループワーク レポート

		冷戦と世界経済	a: 西側陣営が各地に集団防衛機構を構築した目的を理解する。 ・アメリカの核独占状況と、それに対するソ連の核兵器開発の成功がおよぼした影響を理解する。 ・西ヨーロッパが地域統合に取り組んだ背景と、EC と EFTA の形成について理解する。 ・中ソ対立が中国におよぼした影響を考察し、プロレタリア文化大革命の経過とそれが中国社会にあたえた影響について理解する。 ・高度経済成長後も、日本が安定成長を維持できた理由について理解する。 b：東側陣営がワルシャワ条約機構を築いた背景を理解し、世界におよぼした影響を考察する。 ・ベトナム戦争の背景・経緯を年表にまとめて、その後の世界各地にあたえた影響を考察する。 ・経済成長を是とする価値観が、何によって変化していったかを考察する。 c：核開発競争の過熱化について理解し、原子力発電開発の本格化との関係を考察する。 ・ソ連の「雪どけ」と西側への影響を理解し、東ヨーロッパ世界の動揺や中ソ関係の悪化を考察する。 ・1970 年代の東西の緊張緩和の経過を理解し、その背景となった米ソの威信低下や、米中接近の理由について考察する。 ・アメリカの金ドル本位制の停止が、ドル＝ショックと呼ばれるほど衝撃的であった理由を理解し、その後の世界経済にあたえた影響について考察する	小テスト 定期テスト	グループワーク レポート 定期テスト	グループワーク レポート

		グローバル化する世界	a: ソ連のアフガニスタン侵攻により再び東西の緊張が高まっていく経過を理解する。 ・チェルノブイリ原子力発電所の事故に象徴される、ソ連の沈滞の原因を理解する。 ・冷戦後の世界で、経済のグローバル化が進んだことで生じた社会の変化を認識し、グローバル化の前提となった、地域統合や自由貿易圏の成立と WTO の設立について理解する。 b: アメリカの中東政策への反感から、同時多発テロ事件が発生し、対テロ戦争と呼ばれる新しい戦争が始まる経緯を理解し、その影響について考察する。 ・情報化社会の利便性と課題を理解し、情報化社会で安心・安全に生きていくための対応を考察する。 ・自然環境問題について、持続可能な開発という考え方を考察し、現代の世代の幸福と将来の世代の幸福をともに追求できる対応を考察する。 c: ゴルバチョフが主導したペレストロイカと呼ばれるソ連の社会主義体制の抜本的な改革の過程について理解するとともに、改革の実施にもかかわらずソ連が崩壊した理由について考察する。 ・憲法上の制約で不可能だった自衛隊の海外派遣を認めるようになった経緯について考察する。 ・グローバル化がもたらす問題について、原因を考察し、どのように対応していけばよいかを理解する。	小テスト 定期テスト	グループワーク レポート 定期テスト	グループワーク レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度